



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月22日

上場会社名 Genky DrugStores株式会社
 コード番号 9267 URL <http://www.genkydrugstores.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤永 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長兼IR広報室長 (氏名) 常見 武史

TEL 0776-67-5240

四半期報告書提出予定日 2019年1月31日

配当支払開始予定日

2019年2月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年6月21日～2018年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	51,922		1,991		2,145		1,475	
2018年6月期第2四半期								

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 1,459百万円 (%) 2018年6月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	95.35	
2018年6月期第2四半期		

(注) 1. 当社は、2017年12月21日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	62,473	25,070	40.1
2018年6月期	60,043	23,805	39.7

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 25,070百万円 2018年6月期 23,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期				12.50	12.50
2019年6月期		12.50			
2019年6月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年12月21日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期の実績はありません。

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年6月21日～2019年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	10.7	4,300	4.1	4,500	2.8	3,150	1.0	203.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	15,477,484 株	2018年6月期	15,477,484 株
期末自己株式数	2019年6月期2Q	107 株	2018年6月期	107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	15,477,377 株	2018年6月期2Q	株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年6月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2017年12月21日に単独株式移転によりゲンキー株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲については、それまでのゲンキー株式会社の連結の範囲と実質的な変更はありません。

なお、以下の記述においては、前年同四半期と比較を行っている項目についてはゲンキー株式会社の2018年6月期第2四半期連結累計期間（2017年6月21日から2017年12月20日まで）との比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年6月21日から2018年12月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にあるものの、消費者の節約志向は根強く、また貿易摩擦懸念、原油高など海外経済の不確実性もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、同業他社による積極的な出店や他業種からの参入に加え、M&A等の業界再編、物流コストや人件費の増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「近所で生活費が節約できるお店」をコンセプトに、地域シェアを高めるためドミナントエリア構築に邁進いたしました。また、青果や精肉などの生鮮食品を導入し、お客様のショートタイムショッピングに貢献することに尽力いたしました。

当第2四半期連結累計期間における新規出退店につきましては、300坪タイプを岐阜県に9店舗、福井県に3店舗、愛知県に6店舗、石川県に2店舗出店し、大型店を1店舗閉店いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、大型店78店舗、300坪タイプ157店舗、小型店2店舗の合計237店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は519億22百万円と前第2半期連結累計期間に比べ52億98百万円(11.4%)増加いたしました。利益に関しましては、経常利益は21億45百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ69百万円(3.4%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億75百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ61百万円(4.4%)の増益となりました。

次に、当第2四半期連結累計期間における業態別の売上高を見ますと、「大型店」256億40百万円、「300坪タイプ」260億1百万円、「小型店」2億7百万円、「その他」72百万円となりました。また、商品別の内訳では、「食品」317億92百万円、「雑貨」73億52百万円、「化粧品」67億54百万円、「医薬品」50億89百万円、「その他」9億33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億30百万円増加し、624億73百万円となりました。その主な要因は、商品が14億50百万円、有形固定資産が35億81百万円増加した一方、未収入金が29億1百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億64百万円増加し、374億2百万円となりました。これは主に短期借入金が6億円、長期借入金が36億55百万円増加した一方、預り金が27億90百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億65百万円増加し、250億70百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、22億15百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、12億69百万円（前年同期は19億40百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21億45百万円、減価償却費15億78百万円、法人税等の還付27億89百万円があった一方、たな卸資産の増加による支出14億46百万円、法人税等の支払による支出35億28百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用された資金は、55億75百万円（前年同期は29億42百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出54億70百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果得られた資金は、42億97百万円（前年同期は9億9百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増額6億円、長期借入れによる収入68億18百万円と、長期借入金の返済による支出28億86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2019年1月18日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,227,552	2,215,806
売掛金	782,868	785,042
商品	13,960,831	15,410,946
貯蔵品	33,945	30,223
未収入金	3,809,774	908,664
その他	254,288	424,981
流動資産合計	21,069,261	19,775,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,390,984	28,412,401
その他(純額)	7,083,996	8,644,547
有形固定資産合計	33,474,981	37,056,948
無形固定資産	264,768	277,862
投資その他の資産	5,234,276	5,362,965
固定資産合計	38,974,026	42,697,777
資産合計	60,043,287	62,473,443
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,865,102	12,622,875
短期借入金	100,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	5,038,486	5,314,926
未払法人税等	835,630	860,965
預り金	2,845,984	55,538
賞与引当金	60,258	51,506
ポイント引当金	304,817	308,038
その他	3,797,609	3,377,765
流動負債合計	25,847,889	23,291,615
固定負債		
長期借入金	8,345,547	12,001,396
資産除去債務	1,300,460	1,398,665
その他	744,341	711,018
固定負債合計	10,390,348	14,111,080
負債合計	36,238,238	37,402,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	6,795,251	6,795,251
利益剰余金	15,961,468	17,243,696
自己株式	△437	△437
株主資本合計	23,756,282	25,038,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,221	32,237
為替換算調整勘定	3,546	—
その他の包括利益累計額合計	48,767	32,237
純資産合計	23,805,049	25,070,748
負債純資産合計	60,043,287	62,473,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2018年12月20日)
売上高	51,922,507
売上原価	40,001,730
売上総利益	11,920,776
販売費及び一般管理費	9,929,625
営業利益	1,991,150
営業外収益	
受取利息	7,493
受取賃貸料	133,895
受取手数料	100,567
その他	77,258
営業外収益合計	319,214
営業外費用	
支払利息	17,017
賃貸費用	92,206
その他	55,178
営業外費用合計	164,401
経常利益	2,145,963
税金等調整前四半期純利益	2,145,963
法人税、住民税及び事業税	750,990
法人税等調整額	△80,722
法人税等合計	670,268
四半期純利益	1,475,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,475,695

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2018年12月20日)
四半期純利益	1,475,695
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△12,983
為替換算調整勘定	△3,546
その他の包括利益合計	△16,529
四半期包括利益	1,459,166
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,459,166
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2018年12月20日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,145,963
減価償却費	1,578,281
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,752
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3,220
受取利息及び受取配当金	△7,493
支払利息	17,017
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,446,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	△242,227
その他	△19,766
小計	2,017,676
利息及び配当金の受取額	7,493
利息の支払額	△17,201
法人税等の還付額	2,789,577
法人税等の支払額	△3,528,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,269,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,470,043
無形固定資産の取得による支出	△25,149
差入保証金の差入による支出	△82,499
差入保証金の回収による収入	10,817
その他	△8,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,575,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000
長期借入れによる収入	6,818,500
長期借入金の返済による支出	△2,886,211
リース債務の返済による支出	△40,258
配当金の支払額	△194,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,297,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,595
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,745
現金及び現金同等物の期首残高	2,227,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,215,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

2018年11月7日、当社子会社であるゲンキー株式会社は、独占禁止法違反(優越的地位の濫用)の疑いがあるとして、公正取引委員会の立ち入り検査を受けました。

公正取引委員会の調査は現在継続中であり、今後開示すべき重要事項が発生した場合は、速やかに開示してまいります。